

分析概要

押し出し成型チューブやラミネートチューブは、市場で最も一般的なプラスチック製のチューブです。VIVAは、インモールド・ラベルの装飾と独自の射出成形チューブの環境上の利点を測定するため、2011年のデータに基づいて、いくつかの8オンスのプラスチック・チューブのライフサイクルアセスメントを依頼しました。このレポートは、分析境界と共通のインパクトカテゴリの結果を掲載します。分析方法と数値は、ご要望により提出・対応させていただきます。

製品:

下記4種類のチューブとVIVAの100%リサイクル可能なPPチューブとの比較を行ないました。

- リサイクル・プラスチック原料をまったく使用しないラミネート・チューブ
- 32%のリサイクル・プラスチック原料を使用したラミネート・チューブ
- リサイクル・プラスチック原料をまったく使用しない押し出し成型チューブ
- 32%のリサイクル・プラスチック原料を使用した押し出し成型チューブ

生産段階

分析では、製造工場において、チューブの生産から輸送まですべての主要な排出源が含まれます。結果は、チューブ、キャップ、輸送包装、および資材輸送を含めて計算します。ラベル印刷用アルミニウム箔は、任意の認識可能な影響を及ぼしていないことが判明したため、除外しました。消費者使用のチューブおよびその処分は、結果に含まれません。

ポジティブな環境要因

100%リサイクル可能な素材に加えて、VIVAのチューブは、環境負荷の低減に寄与する幾つの特徴があります。

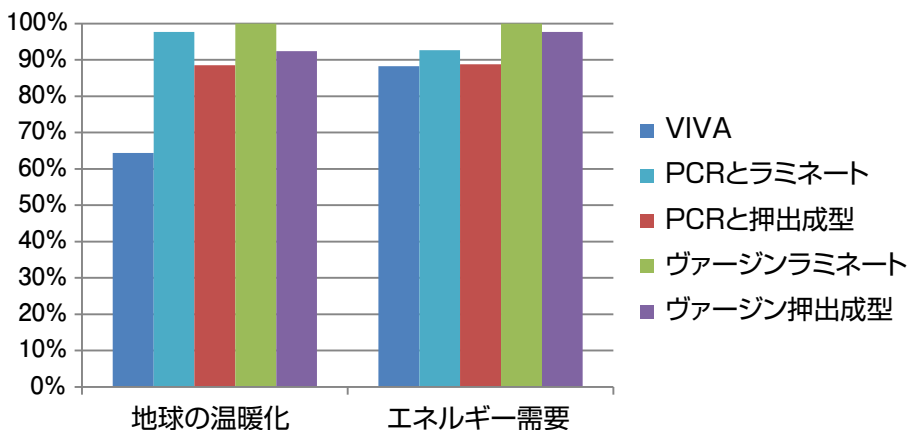
- ✓ キャップは、自社で製造されるため、他の場所からのキャップを輸送する必要がありません。
- ✓ VIVAの生産施設は、米国の競合他社よりもクリーンな電力供給網で動作しており、チューブ当たりの環境負荷の低減を実現しています。
- ✓ VIVAの効率的な射出成形プロセスは、廃棄物を最小限にします。
- ✓ VIVAのチューブは、業界平均より少ない素材を使用しておりますので、原料・輸送への影響も低減しております。



解析要約

地球温暖化(温室効果ガスの排出量)とエネルギー需要(電気・燃料)においてVIVAのチューブは、一般的な業界のチューブより環境負荷の低減を実現しています。

各チューブの環境・エネルギーへの負荷



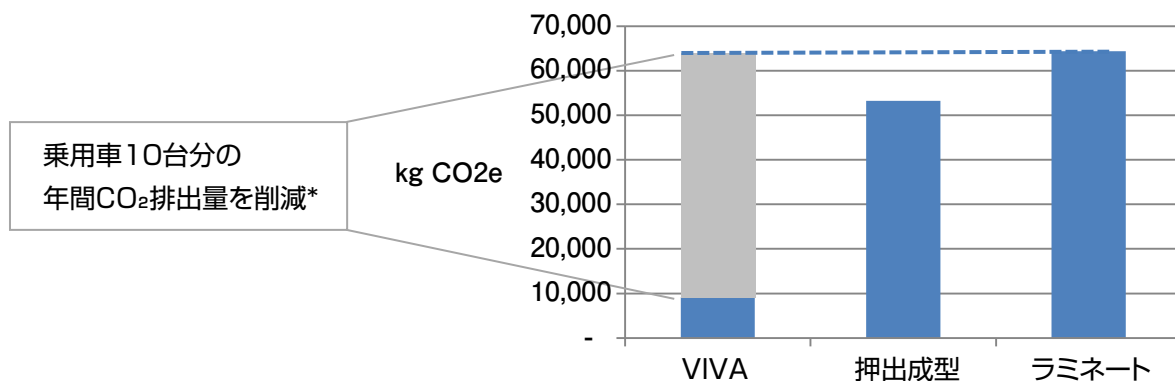
VIVAのチューブは、一般的な業界のチューブに比べ、生産毎に25~35%のCO₂排出量を削減できます。

2つのカテゴリについて、VIVAのチューブは業界ヴァージンチューブより環境負荷を低減しており、生態毒性を除くすべてのカテゴリでPCRとチューブより影響を削減しています。
(地球温暖化、エネルギー需要、酸性化、富栄養化や生態毒性)

VIVAのリサイクルチューブ

一般的な業界のチューブは、複数のプラスチック樹脂で作られているので、リサイクルの際に分別が不可能です。VIVAのチューブとキャップは、共に100%ポリプロピレンで作られているので、そのまま再利用することができます。もし100万回、VIVAのチューブをリサイクルすると、他のチューブタイプに比べ以下の節約をもたらすことができます。

地球温暖化への影響を低減するリサイクルチューブ



100万個のVIVAチューブをリサイクルすると、100家庭用エネルギー利用の3ヶ月分を節約できます。埋立処分される、一般的なチューブとご比較ください。

* EPA住宅のエネルギー消費実態調査2009年からのデータに基づく